

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・今月は比較的高額な商品が多く売れており、売上が押し上げている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・一般的に2月は低迷するといわれているが、タクシー業界にあまり変化はなく、いつもどおりの良い営業成績である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・春の兆しとともに景気に少し明るさがみえていたが、月末になって駅前の地元百貨店倒産のニュースが入っている。もともと売上規模が大きい百貨店ということで、街は案外落ち着いており、消費者も冷静に受け止めている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	単価の動き	・一般的な商材については、ヒット商材がないため売上が伸びず厳しい。ただし、ギフト関係やその他の商材については、引き続き好調であり、売上の減少分をカバーできている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・前年と比較して販売量は114%となっている。3か月を通して前年を下回る月はなく、平均しても108～110%となっており、客にも買い控えの様子は少ない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・以前と比較して、婦人服の売上が増加している。コートの売上は低迷しているものの、ブルゾン、セーターなどの動きが良い。また、宝飾時計、ブランド品の売上も増加しており、高額商材は引き続き好調である。また、新規で行った地元の逸品を集めた催事も好調であり、新しい切り口の商品についての客の関心も高くなってきている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・例年より雪が少ないためか、人の動きが良い。また、買上点数もわずかではあるが伸びている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価が前年比で2ポイント改善している。プラス1品の購入が進んでおり、揚げ物やデザートが好調である。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・低単価志向と高単価志向の二極化が進んでいる。また、寒さが後ろ倒しとなり春物商材の立ち上がりが遅れている。ただし、冬物商材の消化は進んでおり、更には入卒需要といった気候に左右されない商材の需要も増えてきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車のイベント効果により、販売台数及び単価が伸びている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	単価の動き	・比較的衣料品の動きが良く、単価も上がってきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が若干増加している。株価も安定しており、景気は少し良くなっている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・インバウンド客が好調であり、来客数や売店の売上がけん引している。数か月前と比較しても、何が売れるのかがつかめており、対応策も功を奏しているため、ずいぶん景気の良い売れ方をしている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・2月上旬に開催したイベントは、天候要因により前年に引き続いて縮小開催となったが、今年は前年と比べて来客数が多い。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・例年であれば2月は売上や来客数が減少する時期であるが、前年比は微増している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・静かなりに商店街の来客数は安定している。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・今年の2月はとても暖かく、風邪薬を求める客が非常に少ないため、来客数は減少している。また、帰宅が早くなったのか夜間の客が非常に少なくなっており、前年同月と比較して来客数が20%も減少している。	
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数はやや落ち込んでいるものの、客単価が改善しており、売上全体としては横ばいとなっている。また、客の行動からも厳しい節約をしている様子は見受けられない。	
	一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移している。高額商材の動きは多少良くなっているものの、売上増加の様子はみられない。	

百貨店（総務担当）	お客様の様子	・2月はオケージョン需要であるバレンタインなどで、大幅に客単価が上昇している。ただし、洋服などは客単価が下がっており、景気が良いとはいえない。そのため、依然として状況は変わらない。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・食料品の動きは前年並みで推移しているが、衣料品が伸長せず、単価も低下傾向にある。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・春に向けてのアイテム、節句人形などはほぼ前年並みで推移している。ただし、今月は祝祭日の営業が一日減少しており、その分はマイナスとなっている。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・日々の来客数や売上は安定しているものの、今月は前年よりも営業日が1日少なく、その分がマイナスとなっている。
スーパー（経営者）	単価の動き	・今年の2月は前年より営業日数が1日少ないため、売上が前年を下回っている。1品当たりの平均単価は前月に引き続き前年割れであるが、価格訴求効果もあり買上点数は増えている。そのため、来客数は変わらないものの、1日の平均売上は前年並みに戻っており、総じて景気に変化はない。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は前年比で3%ほど減少しているものの、客単価は逆に3%ほど上昇している。そのため、景気自体に変動はない。
スーパー（営業担当）	来客数の動き	・前月並びに前年と比較しても来客数の動きは鈍くなっている。
スーパー（営業担当）	お客様の様子	・1～2月の曜日あわせでの既存店の途中経過では、全店ベースで前期100%で推移している。ただし、2月決算に合わせてチラシやポイントなどの販促策を強化している結果であり、景気回復によるものとはいえない。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数、客単価共に、前年比100%を維持しており、あまり変化はない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の動きに大きな変化はない。景気回復感が一般消費者まで伝わっていない。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・節分を過ぎてから少し低迷していたが、日米首脳会談が成功してから、消費性向がやや明るくなったように見受けられる。また、客は買うものは買うという傾向にあり、景気が少し良くなってきているという状況に変化はない。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・一般服だけでなく、学生服や制服なども競争が激化している。保護者や本人からの知人、友人の紹介により、販路拡大を図って売上増加に結び付けている。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・春物にはまだ早い時期である。早めの取り置きや注文はあるものの、売上にはまだつながっていない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・2月の売上は前年並みに推移しているが、フレックスシャツ向けが前倒しで動いているだけであり、一般向けは前年を下回っている。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・特に趣味し好の強いゴルフ用品の販売量が悪く、景気そのものは変わらないが、全体的な販売量が前年比90%の状態が続いている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数の減少などもあり、身の回りで景気が回復している実感がない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比95%前後で推移しており、県北より県南地域がやや悪い傾向にある。新築需要もあまりなく、客の動きをみてもあまり良い状況ではない。
家電量販店（従業員）	来客数の動き	・高付加価値商材を求める客の件数が、以前よりも少なくなっている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・他社との競合が激しく、少ない見込み客の取り合いとなっている。そのため、厳しい条件の商談が多い。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・決算期であるにもかかわらず、販売量は例年並みであり、伸びていない。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・前～前々月共に、土日における新規の来客数が変わらない。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注生産をしているが、受注量も少なくなってきたり、厳しい状況が続いている。
その他専門店【酒】（経営者）	来客数の動き	・全体的に飲食店の来客数の落ち込みが継続している。店頭では特定の商材しか動かないという状況であり、地方での長期的な販売が厳しくなっている。
その他専門店【ガソリンスタンド】（営業担当）	販売量の動き	・販売量が前年を上回り、収益もそれなりに回復してきている。ただし、暖冬であった前年と比較すれば、良い状況ではあるものの、消費が力強く回復している印象はない。

その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・変動要因がなく、現状維持が続いている。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・法人関係は送別会などの利用がみられるが、個人利用は例年に比べて落ち込んでいる。個人客は先行きを様子見している状況である。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・秋口以降は、年末年始を含めて低迷が続いている。
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前年並みの来客数で推移している。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・11月から状況は変わらず、一般宴会の参加人数が少なく売上が減少傾向にある。ただし、インバウンドの影響もあり、宿泊は増加傾向である。婚礼は単価、参加人数次第であり、全体的に来客数に左右されている状況である。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宴会などの法人利用件数が、前年と比較して減少している。レストランなどの個人利用も減少している。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・全体的に停滞感が漂っており、客からも景気が良いという話を聞くことがない。顧客の利用は変わらないが、フリー利用が減少している。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月、個人旅行の動きが鈍い。業界全体でも前年比96%で推移している。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・海外旅行は、燃油サーチャージ、米国の新大統領の就任による円安傾向の影響もあり、受注状況はかならずしも良いとはいえない。また、国内旅行も直前での取消など、他社への申込やインターネットでの申込に流れているとみられる客も多い。そのため、全体的な傾向に変化はない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・プレミアムフライデーなどの消費喚起施策をみても、恩恵は一部の業種だけであり、底上げにはなっていない。3か月前と比較しても景気は上向いていない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化がみられない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規の契約者数に変化はないものの、節約志向からか低価格コースへの加入が増えている。一方で解約件数は減少している。外での消費を減らし、家のなかで楽しめる事にお金を使う人が増えてきている。
遊園地（経営者）	それ以外	・2月は休園中であるが、学校団体の予約状況は現在のところ変わらない。
競艇場（職員）	来客数の動き	・来客数はあまり変わらないが、客単価がわずかながら上昇している。
住宅販売会社（経営者）	それ以外	・住宅受注は順調であるが、一般物件の受注がない。
商店街（代表者）	販売量の動き	・業種を問わず、各店舗における来客数の減少が続いている。一部飲食店では、客単価の増加でどうにか前年をカバーしているようであるが、総じてどの店舗においても、客単価の減少が続いている様子である。
商店街（代表者）	来客数の動き	・冬季間の前半は非常に良い形で商品が動いていたが、その後半、特に今月は動きが非常に鈍くなっている。
商店街（代表者）	お客様の様子	・食料品などの生活必需品の消費は横ばいであるものの、衣料品や高級品の個人消費は低迷している。
百貨店（売場主任）	来客数の動き	・客の購買動向からは、価格に対するシビアさに大きな変化はみられていない。また、来客数そのものが減少傾向で推移しているため、客単価の低下も加わってますます苦戦を強いられている。
百貨店（買付担当）	お客様の様子	・買上単価、買上客数共に減少している。天候に左右されている部分もあるが苦戦している。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・週末は、天候不順や大雪などにより単価が下落している。さらに、週なかばの晴天の日は買い回りが増えている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・2月中旬に競合店が開店し、その影響で来客数が減少している。
スーパー（店長）	来客数の動き	・当店は日本海の近くであり、前月同様に今月も平日を中心に暴風雪が多かった。そのため、客足に大きな影響が表れており、来客数は前年を下回っている。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・人口減少や労働力減少によるサービス低下により客離れが起きている。

	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にある。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・冬物バーゲンが最終価格になっているが、複数購入する客はいない。販売量、単価共に前年を大幅に下回っている。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・この時期は、入学、就職などを控えたフレッシュマンの来店は多いが、一般客の来店は少ない。一方、最近ではビジネスマンの動きが鈍く、不調の原因となっている。このような来客数の動きからも、全体的な景気はあまり良くなっていない。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車が出ている割には、販売量が前年を大きく上回れない。
	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数が伸び悩んでいる。また、主要商材の売上も減少傾向にある。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・月前半は寒波の影響もあって、特に飲食店への販売量が落ち込んでおり、なかには人が動くのは週末のみで平日は来客が1人もいなかった店もあった。また月後半もずるずるとその状況を引きずる形となっている。ある程度予想して仕入を抑えていたものの、想像以上に厳しい月となっている。
	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・値下げをした冬物商品ばかりが売れて、春物商品の動きが鈍い。
	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・2月という時期的なこともあるが、それにしても動きが悪い。年度末に向けての話はいろいろと出ているが、今月の納品は少ない。
	高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・客も非常に苦戦をしている様子であり、景気の良い話を聞かない。同業者もあまり良くないのが、中央市場で仕入をしていても高級なマグロなどは売れていない。おそらく寿司屋なども厳しいのではないかと。経済政策が地方に全く波及していない。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・商売において、2月と8月はあまり良くない月であり、特に2月は行事が少なく暇である。前年同期及び3か月前と比較しても、数字は悪い。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・来客数の浮き沈みが、だんだん厳しくなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊、宴会、レストラン部門共に、来客数の減少がみられている。特にレストランは、個室での少人数の接待会食などの減少が響いている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・レストランでの個人客の売上が減少している。
	旅行代理店（店長）	お客様の様子	・国内団体旅行の問い合わせや、国内個人向けパッケージ旅行の伸びが今一つである。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・アンテナ関係の会社に訪問した際、インフラ事業の売上が前年度を大きく下回り、今後の事業継続が不透明となっていると聞いている。このことから、近い将来のリストラの可能性が社内で示唆されており、新規事業の立ち上げが急務となっている。4K、8Kの需要拡大が急がれる。オリンピック需要が鍵である。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・常連客の再来店率は変わらないが、新規客が減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・寒くなるとどうしても客足が遠のいてしまい、来店の間隔が空いてしまう。
	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・工事受付件数の前年割れが続いている。
x	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は雪があまり積もらなかったが、それでも客の動きが鈍い。
x	コンビニ（店長）	それ以外	・除雪代、光熱費など経費の増加、雪による来客数の減少、28日営業と今月は年間で1番厳しい月である。
x	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・毎年1～2月は来客数が少なく、販売量も比例している。また、ここ数年続いている買い控えの影響も大きい。
x	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が極端に少ない日が続いている。主婦層の気軽なランチの減少や、客単価の低下も顕著である。
x	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・今後は大丈夫なのかというくらい、販売量、来客数、他社の話すべてにおいて悪く、特に月初は非常に悪かった。ただし、給料日を過ぎてからはある程度は良くなってきているが、全体的にみれば決して良いという状況ではない。

企業 動向 関連				
	(東北)	窯業・土石製品 製造業（役員）	受注量や販売量 の動き	・需要には地域間格差がある。ここにきて業界の需要 想定より多少出荷量が伸びているものの、前年比では マイナスとなっている。
		電気機械器具製 造業（企画担 当）	取引先の様子	・顧客の新製品開発が加速している感がある。加え て、それを確実にする実験製品開発にも積極感があ る。
		金融業（広報担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・県外市場でのりんご販売額増加、県産米の相対取引 価格の高値維持、高値相場を主因とした八戸港水揚げ 額増加など、一次産業が好調に推移している。
		広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・年度末に向けて発注量が増えてきている。さらに、 来年度のコンペ案件も前年より増えている。
		広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・年度末に向けて、各社に動きがみられている。
		農林水産業（従 業者）	受注価格や販売 価格の動き	・ほとんどの果物は、前年よりも販売単価が1割程度 安かったものの、例年並みを維持している。
		食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・もともと2月は閑散期であるが、旅行者や出張者が 例年より少ない印象がある。
		食料品製造業 （営業担当）	受注量や販売量 の動き	・販売量は微減しているが、動きは例年と変わらない。
		木材木製品製 造業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・住宅部材の販売単価の改善が進まず、収益が悪くな らない。
		建設業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・発注時期の平準化により、年度末のみに受注が重なる 傾向は軽減されている。
		建設業（企画担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
		通信業（営業担 当）	取引先の様子	・広告宣伝の効果により、受注案件は増加傾向にあ る。しかし、単価が低廉化しており、利益率が下がっ ている。
		通信業（営業担 当）	取引先の様子	・設備投資よりも経費削減に重きが置かれている。
		金融業（営業担 当）	取引先の様子	・企業の資金ニーズは横ばいのままである。個人は米 国の状況を様子見している。
		公認会計士	取引先の様子	・全体的に建設関係は売上が減少しているものの、利 益を計上している企業が多い。また、小売関係は横ば いであり大きな動きはない。
		コピーサービ ス業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・一部の大手企業からの注文は増えてはいるが、全体 としては横ばいである。
		その他企業〔企 画業〕（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・ここにきて年度末の仕事が増えている。新年度に向 けての案件の相談が増えているが、景気は変わらない。 い。
		その他企業〔工 場施設管理〕 （従業員）	受注価格や販売 価格の動き	・下落傾向は続いているが、ある程度落ち着いてきて いる。
		農林水産業（従 業者）	それ以外	・水田農業の担い手不足により、地域の離農者の水田 が我が家に集まってきている状況であり、負担増にな ってきている。
		繊維工業（経営 者）	取引先の様子	・毎月のことであるが、店頭の売上が悪い。特にデ パートの衣料品の売上が悪い。
		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・価格競争に入っており、受注量が落ち込んでいる。
		出版・印刷・同 関連産業（経 理担当）	受注量や販売量 の動き	・3か月前の前年同期と、今月と3か月前との比較で は、今年のほうが受注量が2%ほど減少している。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・気候にもよるが、人手不足もあり、着工準備が遅れ ている。そのため工事にも遅れが出ている。
		輸送業（経営 者）	取引先の様子	・一時的なものではあるが、生産が不調であり、物流 に期待ができない。
		経営コンサル タント	取引先の様子	・食品製造業3社が、続けて倒産、自己破産をしてい る。いずれも取引先の経営不振による連鎖倒産であ り、業界全体に停滞感が漂っている。
		その他非製造業 〔飲食品卸売 業〕（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・納入価格が100円以下のものが増えており、高額商 材は年々下降気味である。デフレ傾向、値下げ傾向の 強さが顕著にみられている。
	x	広告業協会（役 員）	それ以外	・消費の伸びが鈍化していることが影響しているの か、前年の後半からマスメディア、折込広告などが前 年を下回っている。また、地域的には有利な場所にあ る地元百貨店が自己破産を申請したとの報道があり、 他店の広告減少に影響しなければよいと業界は願っ ている。

雇用 関連 (東北)	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・年度末需要と4月開始案件による人材派遣の受注が、新規登録者数と決定率よりも上回っている。そのため、単月で26%増加、通期で30%増加となっており、受注が好調な状況が継続している。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数の増加に伴い、求職者の登録数も増加傾向にある。引き続き半導体関連や自動車関連メーカーが堅調のため、これらの募集が増加している傾向にある。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・年度末で契約満了を控える派遣就業スタッフの契約が、今月中旬から活発化している。
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・将来への投資として、高校卒業予定者に対する採用意欲が旺盛である。
	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・2月に入ってもインターンシップを積極的に行っている企業が多く、企業の採用意欲の高さは継続している。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求人数は減っていないが、求職者が減少傾向にある。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・年度末の人員の入替時期であるが、ここ数年と同様の傾向であり、以前ほどの採用意欲はみられない。
	アウトソーシング企業(社員)	それ以外	・新規の仕事があまり無い状況が続いている。
	新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・乗用車販売は順調に推移しているが、年度末に向けての広告の動きが鈍い。
	職業安定所(職員)	それ以外	・有効求人倍率が3か月連続で下がっているものの、前年同期よりは上回っている。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・有効求職者は45か月連続で減少している。反面、新規求人数は増加している。ただし、人手不足により充足されない求人が、3か月ごとの求人を探り続けているケースもあり、本当の新しい求人は実際よりも少ないのではないかと。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数、月間有効求人数共に、前年比に大きな変化はみられず、数字的にはわずかな増減が続いている。工場の新設などの求人もあるが、今のところ全体的に大きな変化はみられない。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月と比較して2か月連続で減少し、月間有効求人数も4か月連続で減少となったものの、正社員求人の割合は上昇している。また、新規求職者数は8か月ぶりに増加したが、有効求職者数は微減となっている。このため有効求人倍率は7か月ぶりに1.1倍台に下降したものの、依然として高止まりしており景況感に大きな変化はない。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・有効求人数は前年と比較して増加が続いているが、新規求人数は前年比で増減を繰り返しており、景気が良くなってきているという実感はない。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・有効求人倍率は依然として高水準で推移しているものの、新規求人数は前年同月比で増減を繰り返すなど大幅な増加はみられず、景況感に大きな変化はない。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・緊急雇用対策関連、除染関連事業の縮小により、新規求人数の前年比は減少で推移している。これらの減少分を除けば、毎月の求人の増減理由は、未充足求人の更新などによるものである。
	学校就職担当者	求人数の動き	・前年同期と比較して獲得求人数は微増であり、大きな変化はみられない。
	新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・求人数の動きをみる限り、業種にもよるが人手不足が続いている。やっとな被災地復興の手ごたえが芽生えはじめた矢先の人手不足と人口減少である。オリンピック景気の高まりにより、首都圏に労働力が流出してしまう状況に歯止めがかからない。
	民間職業紹介機関(職員)	周辺企業の様子	・年度末を迎えて、各企業とも求人を探る傾向にある。特に、派遣人員の募集停止、契約期間満了後の継続なしが目立っている。なお、介護関係は相変わらず募集が多い。
	x	-	-